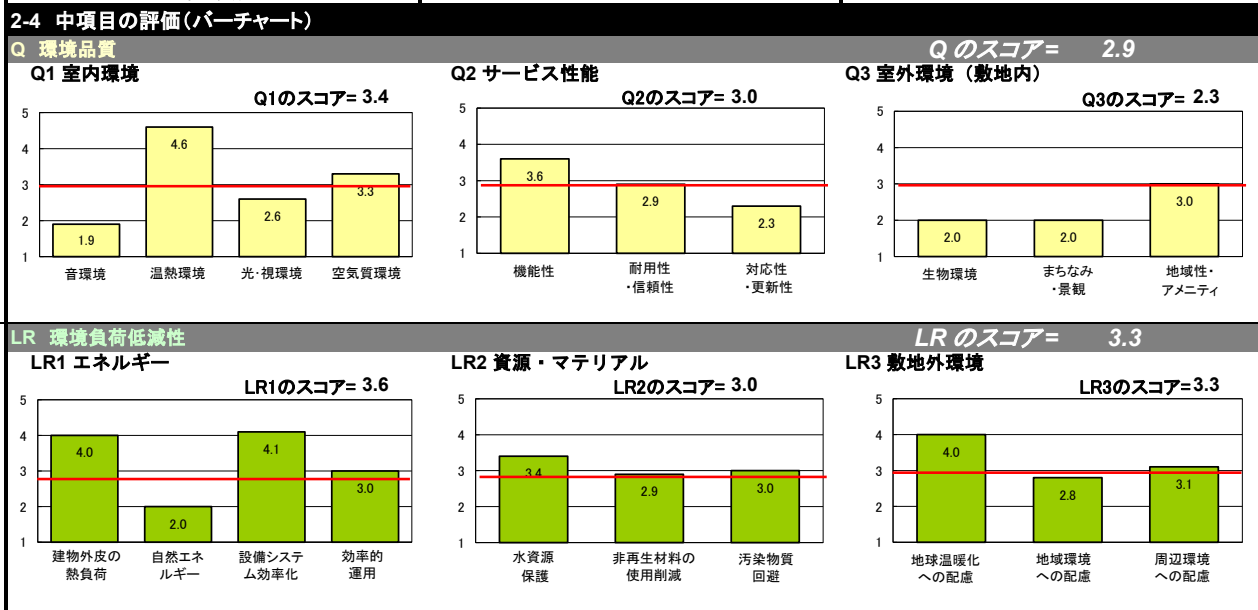
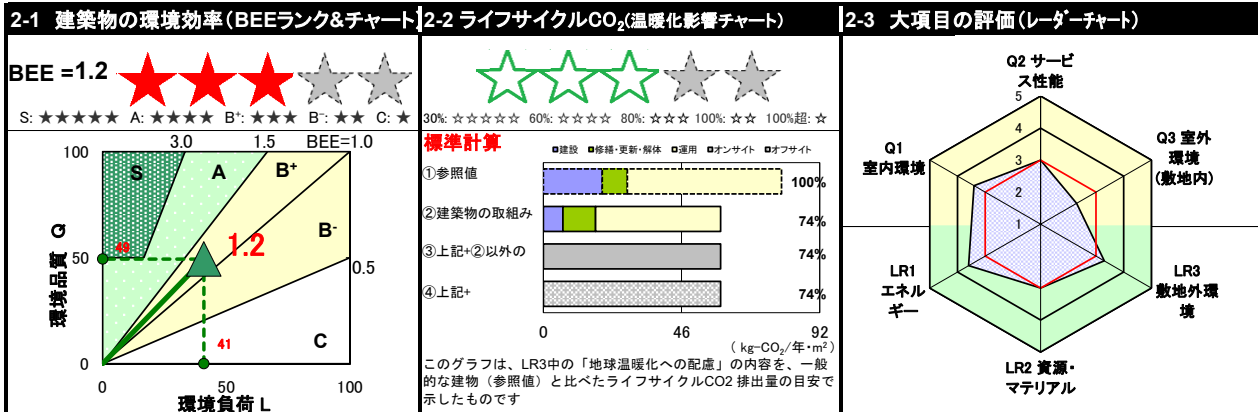


1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)茅ヶ崎市赤松町計画 新築工事	階数	地上7F	
建設地	茅ヶ崎市赤松町3594番4及び3599番1	構造	RC造	
用途地域	準工業地域、法22条区域	平均居住人員	94 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)	
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2028年3月 予定	評価の実施日	2026年3月18日	
敷地面積	1,366 m ²	作成者	株式会社エフティー建築設計事務所	
建築面積	597 m ²	確認日	2026年3月18日	
延床面積	2,913 m ²	確認者	株式会社エフティー建築設計事務所	



3 設計上の配慮事項		
総合	LED等の高効率機器を採用し、全住戸ZEH-M Orientedの水準を満たす、省エネに配慮した建築物とした。	その他 特になし
Q1 室内環境	専有部及び共用部の開口部は遮音性能T-2を満たす設計とした。	Q2 サービス性能 躯体の長寿命化を実現するために、劣化対策等級3を取得する設計とした。
Q3 室外環境(敷地内)		特になし
LR1 エネルギー	全住戸ZEH-M Orientedの水準を満たす設計とした。	LR2 資源・マテリアル 特になし
LR3 敷地外環境		省エネ性能が高い建築物とすることで、建物運用時のCO ₂ 発生量を低く抑えた。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される